

## 第14回上山市総合教育会議 会議録

1 日 時 令和6年3月25日（月）午後3時00分～4時05分

2 場 所 上山市役所 政策会議室

3 出席者

市 長	山 本 幸 靖
教 育 長	横 戸 隆
教 育 委 員	菅 野 高 志
教 育 委 員	木 村 佳 代 子
教 育 委 員	長 藤 節 子
教 育 委 員	山 口 誠

出席職員

庶務課長	尾 形 俊 幸
管理課長	高 橋 秀 典
学校教育課長	西 田 浩
生涯学習課長	舟 越 信 弘

事務局

庶務課副主幹	高 橋 睦 美
管理課副主幹	大 澤 恭 子
管理課主事	菊 池 祐 樹

4 会議に付した事件

(1) 協議

ア パブリックコメント結果について

イ 第3期上山市教育等の振興に関する大綱（案）について

ウ その他

5 会 議 録

進 行

ただいまより第14回上山市総合教育会議を開催いたします。

(管理課長)

今回については地方行政の総合会議として、地方行政の組織及び運営に関する法律の一部改正について市長と教育委員会の連携のための会議を開催いたします。特に教育大綱を定めるまたは変更するという際は、この教育会議で決定するとなっています。今回、第3期の教育大綱の協議を行い、教育大綱を決定したいと考えております。教育委員の皆さんには教育委員会から引き続きになりますがよろしく申し上げます。

それでは、山本市長よりごあいさつをお願いいたします。

山 本 市 長

皆さまこんにちは。市長の山本幸靖です。本日は教育委員の皆さまには年度末のお忙しい時期ではありますが本市の総合教育会議にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。また、日頃から教育行政に多大なお力添えご尽力を頂いておりますことをこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

さて、本市は先週3月の定例会が終わりまして来年度予算について承認をいただきました。また、来年度より始まります第8次振興計画につ

いても承認をいただきました。これで令和6年度のスタートを切る準備が整ったわけであります。私も市長になり初めての予算編成を迎えましたが、前々から言っていた通り、政策の一丁目一番地は教育であるということで今回、予算についても組織強化についても教育へ大幅に力を注ぎました。これから将来の上山を担う子供たちのための政策に向かっていける準備が整ったことをうれしく思っております。私は少子高齢化社会になった際に教育というのは非常に重要な分野であると考えております。教育現場は今までの画一的な教育を提供する場から大きく転換を迎える時期に来ており、時代の激しい変化に対応していきながら次世代を担う子供たちの育成に向け、一緒に進んでいきたいと思っております。総合教育会議でもご協議いただきました学びの多様な学校開設についても令和7年に向けこれから準備をしていきます。その中で今回設置したかみのやま教育ゆめ基金については我々のみが教育へ投資するのではなく、広く企業の皆様、団体の皆様、個人の皆様からご協力をいただきたく設置しました。今回、教育大綱の決定をいただくわけでありますが、今回新たに策定しました教育振興基本計画の基本理念また基本方針として具体的な施策の方向性と併せて今回の大綱を位置づけしております。市と教育委員会双方が同じ方向を向いて進んでいくためのひとつの道標と思っておりますので引き続きお力添えをいただければと思っております。すでに教育委員会では内容については協議いただいておりますし今回の総合教育会議の場は忌憚のない意見を交換出来ればと考えておりますので是非忌憚のない意見をいただきたく思います。簡単ではございますがごあいさつとさせていただきます。

進 行  
横 戸 教 育 長

続きまして教育委員会横戸教育長よりごあいさついただきます。

こんにちは。まず本日は山本市長にはご多忙の中、第14回総合教育会議を開催していただきましたことに感謝いたします。また、委員の皆様さまには先程教育委員会もありましたが、日頃より本市の教育行政に様々な意見をいただきおりますことに感謝申し上げます。

趣旨は市長がお話された通りであり重複しないように話しますと8次振興計画が次年度からスタートすることになりますが、教育を重要視されていて上山の未来を作るために今の子供達に投資するんだという市長の考えのもと教育基本計画の案を作り、その内容を今まで検討してきたところでもございました。先日来年度の予算が決まって、その中には教育に関する手厚い予算をいただきました。人事でもかなりの手厚い人事をしていただいたと私は認識しております。そのような内容をみましても市長がよく言っている教育に力を注ぐまちづくりの第一歩を踏み出すスタートの年でありますから、今後8年間というスタンスで計画を作っておりますが、一つ一つ子供達のために市民の協力を得ながら上山のよりよい教育に繋がればと考えております。是非、学校教育、生涯学習、社会教育、スポーツ文化それぞれの面から子供達はもちろんのこと、地域に暮らす人々の幸せを願って今日は色々のご意見いただきたいと

進 行 思います。本日はよろしくお願ひ致します。  
ありがとうございます。それではこれから協議に入りたいと思ひます。ここからは市長に座長をお願ひしたいと思ひます。

●パブリックコメントの結果について

山本市長 それでは、しばしの間よろしくお願ひいたします。  
まず、始めにパブリックコメント結果について、事務局より説明をお願ひいたします。

(高橋管理課長より説明)

山本市長 ただいま説明いただきました内容についてご質問、意見があればお願ひします。

山本市長 なければ私から感想を少し申し上げます。  
一つ目の学びの多様化学校につきましては、皆さんもご存じのとおりで我々も情報を発信しておりますが、聞いている話ですと地域の皆さんからも概ね好意的な声が多いということです。市民の皆さんも期待されていて、中には学びの多様化学校が出来るから上山に引っ越してきたという声も聞いております。地域の方も一回閉校になった西郷地区の学校をこういった形で利用してもらえるとということで歓迎の声が多いと聞いています。皆さんの期待にきちんと応えられるようにお金を準備していきたいなと思っています。

二つ目としてはここに上山らしさを書くことは私としてはナンセンスだと思います。らしさは言葉で表すことよりも実際に子供達が体験してもらって上山の良さを感じるものであると思うので計画上はそこまで具体的に書いていなくてもいいのかと思います。

三つ目としては学校の今後のあり方は喫緊の課題であり、子供を学校に通わせている保護者ほど切実に感じている問題であると思います。小規模校には小規模校の良さがもちろんあるが、小規模校を維持していく必要人数というものがあります。必要人数を満たさなくなると複式学級等あるが、それが子供たちにとってベストな選択なのか行政側が責任を持ってしっかり考えなければいけない時期にきていると思っている。この議論が遅れば遅れるほど子供に影響を与えるので我々としては早急な議論が必要になってくると考えている。

教 育 長 我々は市長と話す機会は滅多に取れないので、市長の意向を8次振興計画の中でも踏まえて反映させ、教育委員の皆さんには教育委員会でもご提示してきた。今後の課題としては学校の関係者や市民の皆さんにどうやって伝えていくかだと思ふ。市長からもあったとおり市民の関心の高さ、我々の目指す方向性の説明をどうやっていくのが来年度以降の課題であると考えている。

●第3期上山教育等の振興に関する大綱(案)について

山本市長            それでは協議事項（２）の第３期上山教育等の振興に関する大綱（案）  
について事務局より説明をお願いします。

（高橋管理課長が大綱（案）について説明）

山本市長            何か皆さんからご意見はありますか。

菅野委員            前回の７次振興計画や教育の計画についても携わったが、今回の方が  
詳細まで示されていて分かりやすい。基本計画からしっかり落とし込んで、  
詳細や具体的な動きまで示されているのすごくチェックもしやすく、  
いいと感じている。教育は人づくりであるので基本理念を共有しやすく、  
子供達にもしっかりと伝えていくのも大事だと思う。

長藤委員            基本理念の基盤となる３つのキーワードが非常にいいなと思う。どれも  
これからの時代に欠かせない。私は外国人教育に関わっているので特に  
多様性のところは非常に気になっているが是非ここは町をあげて実現  
して欲しい。これから共に生きていく仲間をどう受け入れるのか重要で  
あると思う。私は元々大阪出身であるが、私が転校してきた当初はよそ  
者扱いであった。何かすると大阪の人は違うよねと言われた。そういう  
ところが大事になると思う。是非３つのキーワードのとおり実現してい  
きたいと思う。

山口委員            私も非常に３つのキーワードが重要だと思う。その中でウェルビー  
イングが出来ない教育状況になった時に子供達はどうなるのかと思う。  
つまり、適正規模、適正配置の問題。来年から中川小学校が複式になる  
というのが今後、例えば１学年の中に女の子が１人しかいない時にどう  
するのか。そういったところから統廃合は進んできた経緯があるのだが、  
みんなの希望としては１学年に１人の教員が教えるというのが当たり前  
だが、そういった状況がなくなってきたときに子供達が主体性とか多様  
性とかが満足的に感じられるのか。学校の目標としては、学力をつける  
ところであり、もう一つは社会性を育成するところである。学年に自分  
１人しかいない時に社会性が身に付くのかという時に疑問が残る。そう  
いう状況が上山に出来ないように早急な対応が必要であると思う。ただ  
し行政サイドでいつからやりますではなく、地域に出て子供達がおかれ  
ている状況を説明することが重要であると思う。

木村委員            今、上山市に必要な教育がこの計画にぎゅっと詰まっているのでいい  
と思う。素晴らしいものが出来たと思っている。体験活動の充実がす  
ごく必要だと思っていてコロナの影響で今の子供達はそこが不足して  
いる。それを補えたらいいなと思う。先日二十歳の集いで市長も話されて  
いたが色々な国に旅行して色々な文化に触れて体験することが大事で  
あると思う。身近なところで体験が出来れば自分の身になって来ると  
思う。

山本市長            他に質問はありませんか。私も今回の大綱をみてしっかり作りこんで  
いただいたなと感じている。時々、何で英語に力をいれるのかと聞かれ

るので触れますと、英語は世界の価値観を知るためのツールだと思う。多様性に触れるための一つのツールであり、いくら翻訳機が発達してもそれは自分の気持ちを伝えているものではないので、相手の本当の気持ちが分かるものではなく、本当のコミュニケーションは取れないと思う。日本人の人口が減少していく中で、日本人が生き残っていくための手段は言語を身に付けることだと思う。世界の文化に触れると多様な価値観が身に付くと思う。小さなころから英語に触れて欲しいという意味で今回計画に英語を入れてます。他に質問がなければその他、委員の皆さんから何かございませんか。ないようですので大綱についてはこのように決定したということでご異議はありませんか。なければ、協議事項については以上とさせていただきます。これで議長の座を降ろさせていただきます。

進 行 山本市長、議長、まことにありがとうございます。

最後にその他、全体を通して何かございませんか。なければ以上をもちまして第14回総合教育委員会を閉会いたします。長時間にわたりありがとうございます。

(閉会 午後4時05分)